688百万円

北陸地方整備局 羽越河川国道事務所

記者発表

取り扱い ▼成20年5月1日 16:00 解禁

平成 20 年度 羽越河川国道事務所 事業計画 をお知らせします。

◎治水関係 事業費 1,537百万円

(内訳) 河川改修、環境整備、維持修繕

堰堤維持 849百万円

◎道路関係 事業費 3,476百万円

1)治水関係

【河川改修】

堤防詳細点検の結果、浸透に対する安全度が特に低くかつ被災履歴のある関川村 上関地区(雲母)の堤防強化対策に着手(約 400m)します。

【環境整備】

昨年、村上市(旧神林村)福田地先(平林)で開催した荒川水防演習跡地で、平成19年度に引き続き多目的公園の基盤整備を推進します。

【河川維持修繕】

- ・荒川全川において堤防除草及び、必要箇所の堤防補修を行います。
- ・内水被害を防止するため、乙大日川河口及び堀川合流点の維持掘削を実施します。
- ・流下能力を確保するため高水敷の樹木伐採を実施します。
- ・樋門の機能を維持するため、赤谷川制水門の巻上機修繕などを行います。

【堰堤維持】

大石ダム

老朽化した<u>ダム制御装置(ダムコンピュータ</u> 一)の入替(3カ年国債)工事を完了させる他、 大石川の久保地先に情報表示板を設置し、河川利 用者にわかりやすい情報提供を行います。

横川ダム

平成20年3月に完成した横川ダムの<u>貯水池</u>周辺の整備を完了させる他、ダム運用後の<u>自然環</u>境について調査を行います。



横川ダム(平成 19年11月撮影)

同時発表記者クラブ

新潟県政記者クラブ 新県政記者クラブ 毎日新聞(新発田通信部) 新潟日報(村上支局) 村上新聞社 いわふね新聞社 荘内日報

問い合わせ先



国土交通省 北陸地方整備局 羽越河川国道事務所

TEL: 0254-62-3211(代)

治水関係 調査・品質確保課長 武 藤 道路関係 工務第二課長 北 村

| //r =r /2 | | = | عللد | 1011 | | |
|--|--|---|-------------------------------------|-----------------------------------|---|--|
| <u></u> 箇 所 名 | | 事 ——— | 業 | 概 | 要 ——— | |
| 【新直轄方式による整備】 ・日本海沿岸東北自動車道 (村上IC〜朝日IC間) | 日本海沿岸東北市、秋田市などを 道路*です。 羽越河川国道事 10間の延長約9 k m 平成20年度は、 面川橋(L=261m) します。 | 経て青 務所は nを担当 埋蔵文 | 森 ICに 、 <u>新直</u> もしてし 化財調 | 至る延 <u>轄方式</u> います。 問査、ご | 長約320 *により x良工事 | kmの <u>高規格幹線</u> 、村上IC〜朝日 の促進、及び三 |
| | ※高規格幹線道 自動車の高 あり、全国的 路です。 | 速交通 | | | | 必要な道路で 自動車専用道 |
| | ※新直轄方式 高速道路建 て建設する方 | | | | 地方が費 | 費用を負担し |
| 【一般国道7号】 · 勝木改良 | 山北町勝木地先 建築では20年度の 中木。 で成之を がでいた。 でででででででいる。 は、 がでいる。 は、 でででででいる。 は、 ででででいる。 は、 ででででいる。 でででいる。 ででででいる。 でででは、 でででいる。 でででいる。 でででいる。 でででいる。 ででででいる。 ででででいる。 ででででいる。 ででででいる。 ででででいる。 でででは、 ででででいる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 でき | 解消を目 勝木(い) を行い。 やの一 で で で で で で で で で で で で で で の で の で の | 目的に、 ン、 者の幅、 交、 | 平成 (延展) (世界) (通のさ) | 17年度 L=97.5 L=540 全を確り の限界。 | に事業化されま 5m)を撤去し、 m)を目指しま まするために |
| 【一般国道113号】 · 荒川道路 | 新潟山形南部連 本海沿岸東北自動 クセス機能の強化 平成20年度は、 全線暫定2車線供用 | 車道荒 等を目 改良・ | 川 I C 的に平 舗装エ | ン(仮利 成13年 事を推 | r)と一: 度に事業 | 般国道7号のア ≹化されました。 |
| ・鷹ノ巣道路 | 新潟山形南部連 不良による事故多 を解消するため平 は「鷹ノ巣道路検 いました。 平成20年度は、済 | 発箇所 成9年度 討会」 | 、落石 ξに事 におし | 崩壊・ 業化され ハて、- | 雪崩危 1ました -部ルー | 。平成17年度に トの見直しを行 |
| | ※新潟山形南部 新潟県下越地 (米沢地方生活 幹線道路接続 する する まな な な な な な な な な な な ま な の し た は な は た り た り た り し る り し る り る り し る り る り る り る り る り | 方(村. 圏)を 海沿岸: 信頼性(| 上地方 相互に 東北自 | 連絡す 動車道 | るととも 及び東‡ | た、高規格 比中央自動車 |

日本海沿岸東北自動車道(村上IC~朝日IC間)

●基本計画決定 昭和63年度(荒川 IC(仮称)~村上 IC(仮称)間)

平成 3年度(村上IC(仮称)~朝日IC(仮称)間)

●整備計画決定 平成 8年度

●施行命令 平成10年度

●全体延長 約20km

事業の概要

日本海沿岸東北自動車道は、新潟空港ICを起点とし、酒田市、秋田市などを経て青森ICに至る延長約320kmの高規格幹線道路です。

羽越河川国道事務所は、新直轄方式により、村上IC~朝日IC間の延長 L = 約9kmを担当しています。

平成20年度は、埋蔵文化財調査、改良工事の促進及び三面川橋 (L=261m)、高根川橋 (L=181m) の上部工事に着手します。

《位置図》



《施工状況》



↑三面川橋 L=261m 施工状況(H20.3)

《概要図》





↑ 村上IC (仮称) から 旧朝日村方向を望む

<u>一般国道7号</u>勝木改良

●事業箇所 新潟県村上市勝木

●事業化 平成17年度

●工事着手 平成18年度

●全体延長 約540m

事業の概要

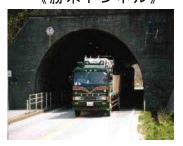
一般国道7号は、日本海側の主要都市圏を結ぶ幹線道路です。しかし、村上市勝木地先においては、見通しの悪いカーブ区間での交通事故多発や歩道未整備による歩行者空間の不足、勝木トンネルの建築限界不足などの問題を抱えています。これらの問題を解消するため、平成17年度に事業化しました。

平成20年度は、勝木トンネル(延長L=97.5m)を撤去し、勝木交差点の改良を行い、完成供用を目指します。

《位置図》



《勝木トンネル》



《見通しの悪いカーブ区間》





↑ 国道 7 号勝木道路 新潟側から山形方面を望む

《施工状況》



↑施工状況 (H20.3)

一般国道113号荒川道路

●事業箇所 (自)新潟県村上市南新保

(至)新潟県村上市坂町

●事業化

●用地着手 〉 平成13年度

●工事着手

●全体延長 約3.6 km

事業の概要

一般国道113号荒川道路は、村上市南新保から同市坂町間における幅員狭小、大型車通行禁止区間や普通車のすれ違い困難踏切の存在といった問題を解消するために平成13年度より事業化されました。また、新潟山形南部連絡道路の一部を構成する道路であることから、日本海沿岸東北自動車道荒川 IC (仮称) と一般国道7号のアクセス機能の強化、物流の効率化を図る等、地域の活性化に大きく寄与することが期待されています。

平成20年度は、改良・舗装工事を推進し、L=約3.6kmの全線暫定2車線供用を目指します。

《位置図》



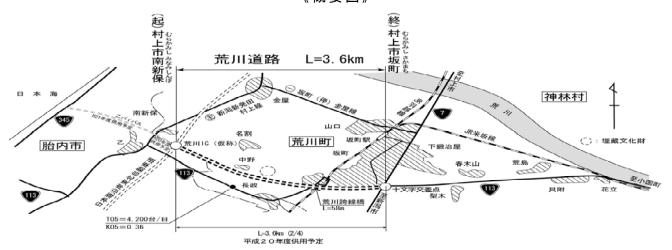


↑荒川IC(仮称)から 山形方向を望む



↑ J R 跨線橋部 (H20.3)

《概要図》



一般国道113号鷹ノ巣道路

●事業箇所 (自)新潟県岩船郡関川村大字荒川台

(至)新潟県岩船郡関川村大字片貝

●事業化 平成 9年度

●用地着手 平成13年度

●工事着手 平成13年度

●全体延長 約5.0km

事業の概要

岩船郡関川村荒川台から同村片貝地内における一般国道113号は、急峻な地形を通過していることから幅員が狭く、道路線形も厳しいことから事故が多発しています。また、落石崩壊・雪崩危険箇所等の存在に加え、災害等による交通規制時においては迂回路がないことなど、地域住民に大きな影響を及ぼしています。

一般国道113号鷹ノ巣道路は、このような問題を解消し、安全で円滑な交通の確保を目的に、平成9年度に事業化し、平成19年度に一部ルートの見直しを行いました。平成20年度は、測量調査及び設計、用地調査を推進します。

《位置図》





↑国道113号鷹ノ巣道路 終点側から起点側を望む

《概要図》

